

# 道徳の木 (7月)

R2. 7. 31 文責：清和中学校道徳担当 酒井健太郎



## ○ 今月の道徳授業の紹介です！

今月の授業を紹介します。今月は「勤労」に関する授業を全学年で行いました。授業の中では、全学年で「みなさんは、何のために働くと思いますか？」という発問がありました。最初の方では「自分のため」や「お金をかせぐため。」などの反応が多かった生徒たちですが、友達や先生とのやり取りを通して、生徒一人一人が深く考え、後半ではたくさんの働く意義に気付くことができました。生徒の感想を紹介します。

7月の大切にしたい心

集団や社会との関わり

### 勤労

働くことの尊さや大切さを理解し、将来の生き方についての考えを深め、働くことを通じて社会に貢献していく。

1年 「万田坑と共に」(熊本之心)	2年 「震災の中で」	3年 「たんぼ作業所」
		
<p>【生徒の感想】</p> <p>人は、世のため人のために働くことで、日本へ貢献することができたり、社会の役に立ったりすることが分かりました。私も今できることを見つけていきたいです。</p>	<p>【生徒の感想】</p> <p>私は「働く」ということの中には「誰かのために」「社会のために」という気持ちがあることを初めて感じました。私も作者のように自分のできることを探して積極的に参加したいと思います。</p>	<p>【生徒の感想】</p> <p>仕事をすることで得る喜びや大変さがどういふことか考えることができました。仕事は何のためにしているのかを考えることができたので、意味を考えながらこれからの仕事をしていきたいです。</p>

## ○ 2年生で研究授業がありました！

全職員で2年生の授業を参観しました。授業では、生徒たちが自分の考えたことを積極的に発言する姿が印象的でした。授業後には、参観した先生たちで意見を出し合いました。今後も、互いの授業を参観し合い、よりよい授業づくりをめざしていきます。2年生ありがとう！



職員による授業参観と授業研究会の様子

## ○ 家庭道徳の取組でのコメントを紹介します！

毎月第1週の週末に実施しています家庭道徳の取組へ、ご協力いただきありがとうございます。今回は、つなぐ(熊本地震関連教材)の「ありがとう」をお読みいただき、お子さんと感じたことを交流していただきました。各学年から数名、生徒や保護者のコメントを紹介させていただきます。

### 【生徒の学び】

・私(主人公)がボランティアをしているところが心に残りました。役に立ちたいと思い、ボランティアをするのはすごいと思ったからです。

・私は一番最初の「初めはごく普通の金曜日がくると思っていた。」の部分が心に残りました。当時、自分も同じように思った経験があって、こんな地震が来るなんて、想像もしなかったからです。

・自分や家族が被災し、つらく大変な時に自分にボランティアができるかを考えたけれど、自分のことで精いっぱいになってしまって、ボランティアはできないだろうと感じました。

### 【保護者の学び】

・父が家族のことも心配だろうに、短い言葉で電話を切った場面に職務に対する責任を感じた。  
・感謝されるだけではない、ボランティアで人の役に立つことは素晴らしいことだと思う。

・災害が起きると、自分の家族も心配なのに、被災地で一生懸命救助活動をしている方々の姿には頭が下がります。  
・「ありがとう」の言葉は、人を元気にする魔法の言葉だと思います。

・地震の後に、職員として益城への被害調査に行き、炊き出しの準備などをして人の役にたとうとしたことを思い出しました。“人の役に立てる”、そんな大人に育ってほしいと思います。

### 【今後へのつなぎ】

・誰かの人の役に立つことは大事なことから、自分から進んで行動していきたいです。  
・自分も自然とありがとうを言えるようになりたいと思います。

・ボランティアに参加する私(主人公)の姿から、自分も何かできることがあったら動きたいと思いました。

・身の回りで災害などがあつた時に、自分のできることを考えようと思いました。今は、近所の人たちの気持ちを安心させる声かけなどが出来ればいいと思います。

保護者との交流を通して、様々な考え方にふれることで、生徒が考えを深めることができました。たくさんのご感想をお寄せいただき、大変ありがとうございました。

## ○ 次回の家庭道徳の日のお知らせ

今回の家庭道徳の日の取組が、今週末に実施されます。今回の内容は、つなぐ(熊本地震関連教材)の「そのとき～私の父と母～」です。前回と同じようにプリントをお配りしていますので、お忙しい中だとは思いますが、お時間をとっていただくと幸いです。8月3日(月)までの提出をお願いします。

